

平成 25 年 2 月 17 日 (日) 施行

## 第 170 回 全経簿記能力検定試験 2 級 商業簿記 解説

### 第 1 問

1. 徳島商店から貨物引換証を受け取った際、以下のように処理している。

(借) 未 着 品	150,000	(貸) 仕 入	150,000
-----------	---------	---------	---------

未着品を売り渡したと同時に未着品を仕入勘定に戻す。

2. 前期末に以下のとおり繰延べ処理している。

(借) 前払保険料	48,000	(貸) 保 険 料	48,000
-----------	--------	-----------	--------

これを当期首に再振替。

3. 当期純損失なので、繰越利益剰余金（純資産）は減少する。  
 4. 自己受為替手形の振出し。自社が受取人の為替手形→受取手形として処理する。  
 5. ￥250,000 全額が回収不能となったので貸倒処理する。貸倒引当金 ￥320,000 を超える金額は貸倒損失で処理。  
 6. 利息の計算は発行価額をもとに計算する。年間利息は  $¥5,000,000 \times 4\% = ¥200,000$   
 年 2 回払いなので 1 回の支払い額は  $¥100,000$   
 7. 1 株あたり  $¥30,000 \times 1,000 株 = ¥3,000,000$  は資本金に計上しない（資本準備金）。  
 会社設立の際の株式払込なので創立費となる。株式交付費ではないことに注意。

### 第 2 問

#### ① 売上総利益

$$\text{純売上高} = \text{当期総売上高} - \text{当期売上返品高} = ¥8,167,000 - ¥42,000 = ¥8,125,000$$

$$\text{純仕入高} = \text{当期総仕入高} - \text{当期仕入返品高} = ¥4,959,000 - ¥84,000 = ¥4,875,000$$

仕 入		損益計算書	
期首商品	528,000	売上原価	
純仕入高	4,875,000	原価以外の費用	X
	期末商品 595,000	当期純利益	
			純売上高 8,125,000
			売上以外の収益 135,000

$$\text{売上原価} = \text{期首商品} + \text{純仕入高} - \text{期末商品}$$

$$= ¥528,000 + ¥4,875,000 - ¥595,000 = ¥4,808,000$$

$$\text{売上総利益} = \text{純売上高} - \text{売上原価} = ¥8,125,000 - ¥4,808,000 = ¥3,317,000$$

#### ② 期末純資産(資本)

期首貸借対照表		期末貸借対照表	
現金・預金	183,000	現金・預金	248,000
売掛金	456,000	売掛金	423,000
商 品	528,000	商 品	595,000
	期首純資産		期末純資産

$$\text{期末純資産} = \text{期末資産} - \text{期末負債}$$

$$= (¥248,000 + ¥423,000 + ¥595,000) - ¥348,000 = ¥918,000$$

③当期純利益

$$\begin{aligned} \text{期首純資産} &= \text{期首資産} - \text{期首負債} \\ &= (\text{¥}183,000 + \text{¥}456,000 + \text{¥}528,000) - \text{¥}395,000 = \text{¥}772,000 \\ \text{期末純資産} &= \text{期首純資産} + \text{資本追加元入高} - \text{資本引出高} + \text{当期純利益より} \\ \text{¥}918,000 &= \text{¥}772,000 + \text{¥}120,000 - \text{¥}250,000 + \text{当期純利益} \\ \text{当期純利益} &= \underline{\text{¥}276,000} \end{aligned}$$

④売上原価を除く期間中の費用総額 X

$$\begin{aligned} \text{損益計算書の貸方合計} &= \text{¥}8,125,000 + \text{¥}135,000 = \text{¥}8,260,000 \\ \text{当期純利益は¥}276,000 \text{ なので、費用総額は} &= \text{¥}8,260,000 - \text{¥}276,000 = \text{¥}7,984,000 \\ \text{このうち、売上原価が¥}4,808,000 \text{ より、} &= \text{X} = \text{¥}7,984,000 - \text{¥}4,808,000 = \underline{\text{¥}3,176,000} \end{aligned}$$

第3問

解答用紙と問題文から、**現金出納帳、当座預金出納帳（貸方）、売上帳、仕入帳**を特殊仕訳帳として用いている。勘定科目のうち、**現金、当座預金、売上、仕入**に関しては、月末に合計転記するので、仕訳帳の元丁欄は「✓」を記入する。売掛金は得意先(売掛金)元帳の丁数を記入する。

				(元丁)					(元丁)
1月6日	(借)	売掛金	150,000	得2	(貸)	売	上	150,000	✓
7日	(借)	売	上	20,000	✓	(貸)	売	掛	金
								20,000	得2
15日	(借)	当座預金	100,000	✓	(貸)	現	金	100,000	✓
20日	(借)	当座預金	280,000	✓	(貸)	売	掛	金	280,000
								280,000	得1
23日	(借)	当座預金	80,000	✓	(貸)	売	上	320,000	✓
		売掛金	240,000	得1					

第4問

1. 仕入伝票

(借)	仕	入	440,000	(貸)	買	掛	金	440,000
(借)	仕	入	380,000	(貸)	買	掛	金	380,000

※5伝票制なので、仕入伝票の金額はすべて買掛金となる。

2. 売上傳票

(借)	売	上	25,000	(貸)	売	掛	金	25,000
(借)	売	掛	金	560,000	(貸)	売	上	560,000
(借)	売	掛	金	370,000	(貸)	売	上	370,000

※5伝票制なので、売上傳票の金額はすべて売掛金となる。

3. 入金伝票

(借)	現	金	180,000	(貸)	当	座	預	金	180,000
(借)	現	金	100,000	(貸)	前	受	金	100,000	

4. 出金伝票

(借)	買	掛	金	120,000	(貸)	現	金	120,000
(借)	仕	入	30,000	(貸)	現	金	30,000	
(借)	交	通	費	45,000	(貸)	現	金	45,000

## 5. 振替伝票

(借) 買掛金	150,000	(貸) 受取手形	150,000
(借) 当座預金	320,000	(貸) 売掛金	320,000

## 第5問

## 未達事項

1.	(借) 買掛金	43,000	(貸) 支店	43,000
2.	(借) 本店	39,000	(貸) 売掛金	39,000
3.	(借) 仕入	65,000	(貸) 本店	65,000
4.	(借) 現金	50,000	(貸) 支店	50,000

支店		本店	
※1,163,000	43,000	39,000	※1,044,000
	50,000		65,000
	1,070,000	1,070,000	

※残高試算表より

 以上より、本店勘定・支店勘定の一致する金額は¥1,070,000

## 決算整理事項

## 1. 売上原価の計算

 支店の期末商品棚卸高は未達分を加えて  $¥760,000 + ¥65,000 = ¥825,000$ 

期首商品棚卸高は残高試算表より

 本店分 + 支店分 =  $¥978,000 + ¥783,000 = ¥1,761,000$ 

期末商品棚卸高は

 本店分 + 支店分 =  $¥1,054,000 + ¥825,000 = ¥1,879,000$ 

(借) 仕入	1,761,000	(貸) 繰越商品	1,761,000
繰越商品	1,879,000	仕入	1,879,000

 当期仕入高は本店分  $¥2,448,000$ 、支店分は  $¥1,422,000 + ¥65,000$  (未達分) =  $¥1,487,000$ 

 よって本支店合計仕入高は  $¥3,935,000$  となるので、売上原価は

 $¥1,761,000 + ¥3,935,000 - ¥1,879,000 = ¥3,817,000$ 

 一方、本支店合計の売上高は  $¥4,927,000 + ¥3,170,000 = ¥8,097,000$ 

以上より、本支店合併後の売上総利益は

 $¥8,097,000 - ¥3,817,000 = \underline{¥4,280,000}$ 

## 2. 貸倒引当金の計上

売掛金の残高は、残高試算表の本店、支店分の合計から未達事項の回収分を控除して

 $¥965,000 + ¥724,000 - ¥39,000 = ¥1,650,000$ 
 $¥1,650,000 \times 4\% = ¥66,000$ 

 洗い替え法で処理するので、貸倒引当金残高 (本店  $¥4,000$  + 支店  $¥2,000$ )  $¥6,000$  を戻し入れた後に  $¥66,000$  を繰り入れる。

(借) 貸倒引当金	6,000	(貸) 貸倒引当金戻入	6,000
貸倒引当金繰入	66,000	貸倒引当金	66,000

### 3. 減価償却費の計算

(本店備品)

取得価額は¥960,000、耐用年数6年、残存価額はゼロなので、年間の減価償却費は、  
 $¥960,000 \div 6年 = ¥160,000$

(借) 減 価 償 却 費	160,000	(貸) 備品減価償却累計額	160,000
---------------	---------	---------------	---------

(支店備品)

取得価額は¥750,000、耐用年数6年、残存価額はゼロなので、年間の減価償却費は、  
 $¥750,000 \div 6年 = ¥125,000$

(借) 減 価 償 却 費	125,000	(貸) 備品減価償却累計額	125,000
---------------	---------	---------------	---------

減価償却累計額は

$¥480,000 + ¥250,000 + (¥160,000 + ¥125,000)$  (当期減価償却費) = ¥1,015,000

### 4. 消耗品費の処理 (本店・支店合計)

(借) 消 耗 品	53,000	(貸) 消 耗 品 費	53,000
-----------	--------	-------------	--------

### 5. 支払家賃の繰延べ (本店・支店合計)

(借) 前 払 家 賃	125,000	(貸) 支 払 家 賃	125,000
-------------	---------	-------------	---------

### 6. 支払利息の見越し (本店・支店合計)

(借) 支 払 利 息	11,000	(貸) 未 払 利 息	11,000
-------------	--------	-------------	--------

### 7. 受取手数料の見越し (本店・支店合計)

(借) 未 収 手 数 料	9,000	(貸) 受 取 手 数 料	9,000
---------------	-------	---------------	-------